



1月20日「平成20年高梁市消防出初式」での記念写真(1人欠席)

## 女性パワーを地域のために

## 高梁市女性消防団員



一般家庭で防火を呼びかける団員

昨年10月1日、市消防団に創立以来初となる「女性消防団員」25人が入団しました。女性の入団は、県内27消防団のうち13番目。

団員は各方面隊からそれぞれ5人ずつ推薦され、10〜50代の学生、会社員、主婦などで構成。普段は防災に関する広報・啓発活動や、高齢者宅などを訪問して火災予防の呼びかけなどを行います。また、災害発生時には、物資の調達や交通整理などの後方支援にも携わる予定です。

現在、団員は消防団員としての活動内容や礼式、火の元点検時の着眼点、消火訓練、普通救命講習などの基礎知識



防災活動等の研修を受ける団員

識を習得するために研修を重ねています。また、2〜3月の土曜日には、市内の一般家庭を訪問して防火の呼びかけも行いました。

部長の池田博江さん(川上町地頭)は、「地域防災のため、私たちにできることがあればと思い入団しました。私たちにとっては、すべてが新しい発見ですが、地域を大切に思う気持ちは女性も男性も同じです。地域のお役に立てるよう団員と協力し合って頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします」と話します。

女性の能力を生かすことで、消防団組織の活性化や地域の防災力の強化が期待されています。

今後の「女性消防団員」の活躍に注目です。

# 学園だより

## 高梁での4年間

吉備国際大学 社会福祉学部

臨床心理学科 4年 木村 摂さん(長崎市出身)



子どもたちの心のケアや、医者と患者の間に立ってカウンセリングをするなど、教育、医療・福祉分野で活躍したいと臨床心理学科に進学しました。在学中の4年間で、高梁でのいろいろな思い出ができました。

高梁で暮らし始めたばかりのころ、アパートの隣に住むおじいちゃんとおばあちゃんが「まあ、入りんせえ」と家に招き入れ、いろいろと私の話を聞いてくださり、パンとコーヒーまでご馳走していただきました。親元を離れて淋しかった時だったので、大変うれしかったのを覚えています。また、アルバイト先では食事の心配をしてくれたり、進路のことまで親身になって聞いてくれるなど、皆さんとても親切で、高梁は住みやすい場所と感じています。ただ、学生にとって遊ぶ場所やアルバイト先が少ないとよく聞きますし、私は食べ物屋などのお店がもう少し遅い時間まで開いていれればと思います。

大学では、学園祭を企画運営する「伊賀祭実行委員会」に所属し、3年の時には委員長を務めました。今思えば、委員会の活動は自分にとってとても大きいものだったと感じています。大学近隣の町内会や各種団体への学園祭協力依頼のあいさつまわりでは、多くの皆さんに励ましていただきました。また、学園祭当日も多くの市民の皆さんに来てもらって盛り上げていただきました。

高梁は、古い土塀や武家屋敷など城下町の雰囲気、祖父母の住む島原によく似ています。そのため親しみもありました。4月からは、臨床心理士の資格を取るため大学院に入るので、後2年高梁で暮らすことになります。これから2年間、高梁の町並みや歴史なども勉強したいと思います。

### 編集後記

昨シーズンが暖冬だったせいか、今年の冬は寒さが厳しく感じられ、自宅ではこたつで過ごすことが自然と多くなつてしまいました。そのため、庭に出ることも少なかったのですが、久しぶりにゆつくり眺めてみると、フクジュソウがずいぶんと大きくなり、チューリップやユリも芽を出していました。季節は着実に春に向かっていっているようです。

さて、今月号は、ごみの分別の一部変更についてお知らせしました。リサイクルプラザでは、汚れの落ちていないごみや分別できていないごみを手作業で取り除いていますが大変な作業です。ごみを出

す一人ひとりがきちんとした分別を心がけることで、こうした作業の負担は減りますし、資源としての再生も可能となります。この機会に再確認いただき、分別収集に一層のご協力をお願いします。

そろそろ校の便りも聞こえてきそうです。4月は、市内各地でさまざまなイベントが予定されていますので、足を運んでみてはいかがでしょう。か。広報紙を通じて、さまざまなまちの話題を皆さんにお届けしたいと思います。4月からも「広報たかはし」をよろしくお願いします。(YM)

## まちの伝言板

### ひびけうたごえ in 高梁

～アコーディオンとともにみんなであう～



うたごえ高梁実行委員会 代表 切山 勝美さん

昭和40年代に全盛だった歌声喫茶。カラオケ時代になった今も、岡山市を中心に約20カ所で歌声活動を30年間続けている岡山アコーディオンクラブ会長の松山武雄さんを迎えて、大歌声フェスティバルが行われます。高梁市で初めての試みとなるこの催しは、アコーディオンやギターの伴奏に合わせ客席の皆さんが一つになつて「ふるさと」「千の風になつて」「高原列車は行く」などおなじみの曲を2時間歌います。

「誰でも歌ったことのある童謡、唱歌、なつメロ、世界の歌、心に残る思い出の歌などを参加者全員がステージと一体になつて歌います。歌に自信がある人もない人もみんな楽しめますので、家族、友人をお誘いください、ご参加ください。ご来場をお待ちしています」と代表の切山さん。

※詳細は次のとおりです。

▽日時：4月27日(日)午後1時30分～午後3時30分

▽会場：総合文化会館

▽入場料

前売り券 1000円

当日券 1500円

※参加者全員に歌集を差し上げます。

■問い合わせ うたごえ高梁実行委員会 代表 切山さん (TEL) 02622